

6月16日（金）は、第1回目の「心きらり道徳教育参観日」でした。平日の参観日開催でしたが、たくさんの方々に参加いただきありがとうございました。道徳の学習の様子はいかがだったでしょうか。

懇談会では【高知の道徳『家庭の力は心のエネルギー』】を使って話し合いました。「あいさつ・会話・役割・がまん・きたえる・うやまう・しかる」大切な教育です。

高知の道徳
P10・11

家庭で行う 7つの取り組み

家庭の力は心

5

**体験の中で子どもを
きたえよう**

【我が家のルール】
実体験が少なくなっている現在、豊かな体験を通して働くことの尊厳や自然の厳しさ、美しさを肌で感じ取らせましょう。

4

**子どもに
がまんを教えよう**

【我が家のルール】
がまんするからこそ、得られたときのうれしさが実感できます。家庭での約束ごとを決めて、まず、親から守っていき姿勢が大切です。

7

**人に迷惑をかけたときは
きちんと叱ろう**

【我が家のルール】
「叱る」と怒るは全く違います。「よくなってほしい」という愛情をもって叱りましょう。

6

**先人や目上の
人を敬う心を育てよう**

【我が家のルール】
親が人に感謝し敬う心をもてば、その姿は子どもに伝わり、親への感謝を通して人を敬う心が育っていきます。

のエネルギー

2

家族と会話をしよう

【我が家のルール】
子どもがつらいときの話を受け止めるのも平日からの会話です。まず、話を聞くことから始めましょう。

1

**毎日きちんと
あいさつをしよう**

【我が家のルール】
まずは大人のおなたからおはよう「おやすみ」「ありがとう」のひと声をかけましょう。

3

**家族の1員として
役割をもとう**

【我が家のルール】
子どもにも継続して手伝いをさせることで、家族の1員としての自覚や責任、家族への感謝の心が育ちます。また、生活の知恵も会得していきます。

**背中
で教える
大人の意識と行動!**



◆上左～：1-1・1-2、なかよし2（役割演技） ◆下左～：1年・4年学年懇談、保護者の方靴の整頓（協力及び意識の高さに感謝！） 参観日の一部の様子です。